

7-2

主 題 口腔機能の維持・向上への取り組みについて

口腔機能の維持・向上

副 題 ～Do you know kouku-kea?～

職員の意識改革

研究期間 8ヶ月

事業所 特別養護老人ホーム 塩浜ホーム

発表者：介護職員 臼倉 丈裕

アドバイザー：歯科医師 浅野先生、生活課長 箱崎

共同研究者：小松 直樹、東 美加

電 話 03-5683-5571

メー ル shiohamahome@bz01.plala.or.jp

FAX 03-5683-5575

URL <http://www.asokakai.net/siohama/>今回発表の
事業所や
サービスの
紹介

社会福祉法人あそか会が母体である塩浜ホームは、法人内では4番目の特養として平成7年7月に開設されました。特養60床、ショートステイ10床に居宅介護支援事業所が併設された小規模の施設ですが、「利用者本位」の精神を大切に地域に根ざされた施設を目指して日々努めています。

《研究前の状況と課題》

塩浜ホームではご利用者の口腔機能の維持・向上を目的とした取り組みとして、日々の口腔ケア、訪問歯科診療、病院歯科受診、定期的な歯ブラシ交換等を行っている。平成18年度の介護保険法改正で介護予防という考え方が導入され「口腔機能の向上」が組み込まれ、口腔に対する関心や重要性が高まるなか、口腔に関するケアのさらなる充実を図っていく必要があった。

また、職員の口腔に関する知識の習得、技術の向上を目指した研修等の場がほとんどなく、口腔機能のケアに対する意識の低さがあった。

平成21年11月より、口腔機能維持管理加算開始に伴い、ホーム全体でご利用者の口腔機能の維持・向上、職員の口腔機能全般の知識・技術の向上を図る必要があった。

《研究の目標と期待する成果》

- 口腔ケアの重要性を職員全員が意識し、知識・技術の向上を図るために、勉強会や研修に参加する。それによって得た知識・技術を現場で活用することにより、職員の口腔ケアに対する技術・知識の向上を目指しご利用者の病気の予防やQOLの向上を目指す。
- 口腔ケアの取り組みによってご利用者と接する機会が増えることにより、コミュニケーションの増加を図り、信頼関係の構築を目指す。また、ご利用者同士のコミュニケーションの向上を目指す。
- ご利用者の食への意欲向上、食べることに楽しみを感じることができ、経口からの摂取の維持ができる。
- 誤嚥性肺炎の予防ができる。

《具体的な取り組みの内容》

- 平成22年度より、口腔ケア委員会を発足させ、委員を各フロアに1名配置。
- 口腔ケアの意義、重要性の再確認を行う。
- (毎週往診のある) 歯科医師の指導、協力のもと口腔ケア委員が中心となりご利用者の口腔内の清潔保持に努め、歯科医師との連携体制を確立する。
- スクリーニングを行い、口腔ケアの取り組みを行う対象者を数名決め、対象者の変化を観察するために口腔内を撮影する。
- 経口摂取のご利用者に対し口腔体操、口腔レクリエーションを実施する。
- 経口摂取可能だが口腔体操の困難な方に対して、食事前に唾液腺マッサージを実施。
- 経管栄養のご利用者の口腔清拭を1日2回から3回に増やし、人工唾液の使用・口腔ケア・唾液腺マッサージを実施する。
- 歯ブラシ交換を3ヶ月毎の交換から毎月交換に変更する。
- 毎月口腔ケア委員会を開催し、口腔ケア委員同士の話し合いの場を持ち各フロアの現状や今後の課題などの意見交換を行う。
- 2～3ヶ月毎に歯科医師との合同勉強会を開催する。
- 参加した外部研修・勉強会の内容を報告書にまとめ施設内にて回覧する。
- 対象者の口腔内を撮影し、取り組みの評価を行う。

《取り組みの結果と評価》

- 歯科医師の指導のもと口腔ケア委員の積極的な取り組み、役職者の協力により唾液腺マッサージ、口腔体操を導入できた。
- 口腔ケア委員会の設立当初は口腔ケア委員が唾液腺マッサージ、口腔体操を行っていたが、現在では口腔ケア委員以外の職員も実施できるようになり、日常業務の一つとして定着してきた。
- 歯科医師との合同勉強会に口腔ケア委員以外の職員の参加希望もあったことから、職員の口腔ケアに対する意識改革ができた。
- 対象者以外のご利用者も口腔体操に参加していただけるようになり、口腔体操中にご利用者の笑顔が増えた。
- 取り組みを開始してから現在まで肺炎の発症は0件。毎食前に、唾液腺マッサージ、口腔体操を実施することにより誤嚥性肺炎を予防し、入院者をださず体調の維持ができた。
- 研修や勉強会に参加することにより口腔ケアに関する知識、技術の向上ができ、歯科医師との連携の強化が図れた。

《今後の課題》

- 入浴日やその日の職員数の関係で、口腔体操等の取り組みが実施できない日がある。
- 口腔体操の内容の充実。ご利用者一人一人に合った取り組み内容の検討。・さらなる職員の口腔ケアに対する意識・技術の向上。

《提案と発信》

(重要) 現在の福祉業界は、現場からの発信力が試されています。貴事業所の取り組みを、広く他の事業所にも紹介し、福祉業界全体のレベルアップに繋げることができたら、大変意味のある発表になります。研究を通して、福祉業界への提案、他の事業所への呼びかけ等、貴事業所からの情報発信をご記入下さい。

【メモ欄】追加資料 有 無

注：参加者が自由に記入できるスペースです。空欄のまま提出下さい。